

(様式第2(一))

医薬品 副作用・感染症 症例票 (国内・外国)

1 / 5

識別番号・報告回数	B-05024195	第4報	関連報告番号	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過							
2006/01/26	咽頭痛出現。						
2006/01/27	咳嗽、嘔声、喀痰出現し来院。体温37.6℃。ケジフェン、フスコデ、グロリアミン投与。						
2006/01/28	39℃に発熱し、腰痛、関節痛出現し再受診。嘔気著明。インフルエンザ抗原テスト陽性(A型)のためリレンザ投与開始。尿の出が悪くなったとの訴えありフスコデ中止を指示し、メジコンとナウゼリンを追加投与す。リレンザ2回(計4b1)吸入。						
2006/01/29	リレンザ1回吸入。昼頃から嗅覚が弱くなっていった。						
2006/01/29 18:00	リレンザ1回吸入(この日計4b1)。						
2006/01/29	夜寝る時になり鼻閉感あり、嗅覚消失していた。この時、解熱過程であった。						
2006/01/30	体温36.7℃。口がまぶさなくなっている。リレンザ中止を指示。嗅覚は右のみ少しだけ回復。タミフルを投与開始。						
2006/01/31	36.8℃。						
2006/02/01	36.7℃。						
2006/02/02	36.7℃。						
2006/02/03	36.7℃。再受診。嗅覚左なし、右約50%に回復とのこと。食欲なくソルデム3A 500ml+サブピタンN 1A補液(点滴静注)。						
2006/02/04	前日補液により幾らか楽になる。同じ補液施行。						
2006/02/06	ソルデム3A 200ml+サブピタンN 1A点滴施行。微熱持続(36.7-37.0℃)。左嗅覚は消失したまま。ノイロピタン3T投与開始。						
2006/02/13	再来。左嗅覚は回復せず。						
2007/01/06	左嗅覚は未回復であるが、悪化傾向は認められない。						

MedDRA

Version (10.0)